

東北・北海道地区通研大会の記録 H26～H30

年度	通し番号	大会名	テーマ	タイトル	内 容	所属校
H26	1	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	クラークの全日型教育～教育力NO. 1を目指して～	自校の実践について、約10年前は高卒資格を求める生徒が多く、卒業がゴールだったが、進路保証を含める声が高まり卒業後を見据えた教育に変わったことを指摘。その点う踏まえた教員間のルールや生徒指導、カリキュラム見直しについて言及。	クラーク記念国際高校札幌大通校・白石校
H26	2	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	教育課程上の課題と対策～一般入学生の基礎学力不足への対応～	開講科目等の教育の概要と入学者の特徴を踏まえ、多様な生徒がいることによる課題や、一般生の2年目の学習中断の課題を指摘、理想の解決方法（学び直し科目の設定）と現実的な対策（個別指導や基礎基本の重視）を提言している。	宮城県美田園高校
H26	3	東北・北海道地区通研大会	教育課程・学習指導	学習を継続させるために～平成22年度入学生をとおして～	入学後4年がたった平成22年度生について、卒業者とそれ以外の傾向を比較分析し、学習継続や卒業に向けた手立てを検討。入学年度の学習継続が大切であることを指摘し、それを踏まえたレポート提出に関する改革と成果を報告している。	宮城県美田園高校
H26	4	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	全道に協力校を持つ通信制高校。新入学が5割、10・20代が中心の生徒の状況、卒業生の進路を紹介。さらに協力校との連携、協力校の就職・進学希望者のへの対応を紹介し、それを踏まえて生徒の進路意識の向上の必要性など進路指導上の課題を提示。	北海道有朋高校
H26	5	東北・北海道地区通研大会	進路指導	本校の進路指導の現状と課題	中学校からの直接進学が4割、不登校経験者が半数近くを占める中、基礎学力、コミュニケーション能力、社会関係能力育成を目標に対面指導を充実させる方針を取る。その中で特に進路指導（進学・就職、資格取得）の実践と課題を報告している。	青森県立北斗高校
H26	6	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	忍耐力の育成～本校生徒指導の現状と課題～	不登校経験の生徒が多く、学力だけでなく社会性の不足がある中で、経験・体験不足と自己肯定感不足に伴う忍耐力不足を課題に提示。その上で、生徒の主体的な活動の場である部活動や体験学習の紹介をしながら生徒指導の効果や成果を考察している。	星槎国際高校
H27	1	東北・北海道地区通研大会	生徒指導	本校生徒指導の現状と課題	県内に5つの協力校を持つ通信制高校。在籍生徒数や生徒状況（受講生・休眠生）の状況を踏まえて、生徒指導の実際として、喫煙・試験不正・不正乗車・窃盗・暴力行為などの場面での指導の実際や、継続的な指導のための工夫について紹介している。	福島県立郡山萌世高校

H26	2	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	本校における放送教育・視聴覚教育の取り組み	スクーリング重視で、単位修得率が8割の公立通信制高校での放送教育利用の事例。アンケート結果でNHK高校講座の認知度が低かったことを踏まえ、視聴環境の改善、講座利用の推進、遠隔地との双方向学習環境の導入について方策を検討、実践した。	秋田県立秋田明徳館高校
H27	3	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校の今度の在り方の模索～教務部の視点から。完全半期認定の制度に向かって！～	公立の通信制高校で、単位認定の仕組みを変化させる際の変化の報告。従来は通年で単位認定をしていたものがどのように半期での単位認定に変わったかについて、制度移行の状況や、制度改定の中で苦心した点などを紹介している。	青森県立北斗高等学校
H27	4	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	ユニバーサルデザインに配慮したレポート作成について	レポートについて、書きにくさや教科の整合性のなさなど発達障がいのある生徒にとって困難が多かった状況で、フォントをゴシックで一定のサイズ以上にし、サイズも統一させるなどの工夫を行った経過と、その結果見えた課題などを紹介。	岩手県立杜陵高等学校
H27	5	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	進路への取組について	私立広域通信制高校本校が進路指導としてどのような取り組みを年間で行ってきたか、それに対して生徒からどんな声が上がってきたかを紹介している。さらに今後進路として大学進学が増えることを予想し、そのための展望も紹介。	クラーク記念国際高等学校
H27	6	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校における進路指導の現状と課題	定通を持ち、普通科と技能連携を行う職業科を持つ公立高校の通信制の事例。生徒の中で配慮を要する生徒が一定いることを踏まえたキャリア教育のプログラム、学習支援、進路支援、関連する専門人材（SSW的人材等）の活用について紹介。	山形県立霞城学園高等学校
H27	7	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の現状と課題	公立通信制高校としてのスクーリングを含む学習の仕組み、自己実現・自立心を重視した生徒心得と、いじめ防止などの関連実践を紹介。課題として卒業後に、社会の中で自立して生きていけるための力をいかにつけさせるかを挙げている。	青森県立八戸中央高等学校
H27	8	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の生徒指導～生徒会活動を中心に～	普通科のみの公立通信制高校で、特徴として広範囲からの通学、生徒の若年化、生徒が学校に交流や友達作りの場の期待もしていることを指摘。生徒指導上では問題行動が減っていること一方、生徒交流の行事、特別活動の参加者減も指摘。	山形県立鶴岡南高等学校
H28	1	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	本校における放送教育・視聴覚教育の取り組み～NHK高校講座の利用推進を中心に～	放送教育研究委嘱校の事例。放送視聴の視聴票の負担の軽減による放送視聴利用環境の改善、おすすめの設定によるNHK高校講座の推進の方策を紹介。成果について生徒の自主性に任せることの限界も指摘している。	秋田県立秋田明徳館高等学校

H28	2	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校の多様なニーズに対応した取り組み	生徒が多様化、ニーズも複雑化する中、生徒の変容に応じて3修制と4修制のダブルスタンダードの特色、働きながら学ぶこともセーフティネットの視点も重視するなど多様な役割を担うことを含む7つの柱を掲げ、学校全体と教務部での取り組みについてを紹介。	北海道有朋高校
H28	3	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校三年修了制課程の現状と課題	四修制を基本としつつ、三修制を取り入れる公立高校。平成9年より三修制も導入したが、生徒の居住地やスクーリング受講先で三修制の適用となりにくいことや、1年目のみが三修制選考対象でありチャンスが少ないことなどを課題として挙げている。	福島県立郡山萌世高校
H28	4	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の進路指導の取り組みと今後の展望 ～3年間まるごと進路指導～	発達のアンバランスや不登校・引きこもり傾向、複雑な家庭環境を持つ生徒がいることを受け、進路指導を「社会人、職業人としての自覚と自立」と位置づけた実践。3年間かけた進路指導を行い、入学前、在学中、卒業後の進路指導の取り組みを紹介。	星槎国際高校
H28	5	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の進路指導	進路指導で主体的な進路選択、保護者への情報提供、望ましい職業観・勤労観・人生観の育成を重点目標に掲げる。職を持たない生徒、学校に適應できない生徒が増える中で、自律を促すための進路講話や勉強会、パソコン講習会などの実践を紹介。	青森県立上尾総合高校
H28	6	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	『アセス』の導入と概要について	これまでの面談中心の生徒状況把握以外に、学校環境適応尺度（ASSESS, アセス）という測定ツールを導入した事例。アセスの6領域を紹介し、その上で事例も紹介。手段を加えることで情報共有がより進むことが大切としている。	クラーク記念国際高校
H28	7	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校における生徒指導の現状と課題	定通からなる公立の多部制単位制高校。駅前に校舎がある中で、自然体験をいかに行っているか、生徒会活動でどう主体性を引き出すかを紹介。自然とのふれあいや農業体験による爽りの体感の重要性、職業間の育成との関わりなどを述べている。	山形県立霞城学園高校
H28	8	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H29	1	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	本校の個別指導について	公立高校として、教育上の重点目標と生徒の状況に関連させた個別指導としての平日勉強会について事例紹介。平日勉強会は、生徒の基礎学力の不足の対策、進学対象者への対策、Word・Excel講習会について実施、そのほか進路指導時間の確保についても紹介。	青森県立上尾総合高校

H29	2	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	学習支援の取組みについて	自学自習が困難で学習中断になる生徒の学び支援のためのeラーニングと個別学習支援の取組の実践の紹介。EラーニングとしてはレポートへのアドバイスやプリントのPDF配布、独自視聴教材の活用を実施、個別学習支援としては学習サポーターの活用を実施。	宮城県立美田園高校
H29	3	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の進路指導の取組みについて	公立通信制高校での進路指導の実施の紹介。主に地元校の外部講師を招聘して行う進路研修会と、キャリア教育の観点での保護者会の活用、総合的な学習の時間の活用、進路指導関連ニュース等の資料の内容の工夫、進路指導関連指導の資料の活用の実態を紹介。	青森県立八戸中央高校
H29	4	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	通信制の課程における進路指導～一人ひとりの学習とキャリアを支援するために～	学ぶ意欲のある生徒は受け入れるという姿勢で生徒を受け入れる中で、生徒に応じた受講登録の指導や平日面接指導、集中学習会の面接指導などを行う取り組みの紹介。事例としての理解の指導、卒業後のキャリアを見通した進路指導の実施と成果を示している。	山形県立鶴岡南高校
H29	5	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	多接点による生徒指導～生徒との関わり方について～	「大人の学校」から始まり生徒が多様化した通信制高校での生徒指導についての再考。高校の概要と生徒の変容を踏まえ、生徒指導について「指導」から「ケア」への転換を述べ。そのために報告課題講評欄でのコメントの仕方の工夫を述べている。	北海道有朋高校
H29	6	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の特別指導の現状と課題について	不登校増加や特別な支援の必要性などの増加を受けての特別活動と学校行事について。特別活動ではLHRや講演会の実施の仕方を紹介。学校行事では生徒の減少と若年化・多様化を受けての重要性を指摘しつつ限られた時間の中での実施の困難さを述べている。	岩手県立杜陵高校本校
H29	7	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		
H30	1	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	多様な生徒の学びのための本校の取り組み	「学ぶ意欲のある生徒は受け入れる」という方針の公立高校。単位制かつ教育課程上での年次科目配列がありスクーリングの重複がある課題、年度途中入学者のスクーリング時間数確保の工夫を述べ、年間修得単位数0や、卒業できない生徒の増加を課題にあげる。	山形県立鶴岡高校
H30	2	東北・北海道地区 通研大会	教育課程・学 習指導	「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して	私学女子高でミッションスクールでの通信制であり、文科省委託事業として支援体制とアセスメント方法を研究した事例。カリキュラム・マネジメントの試みを行い、生徒の特色を踏まえて総合的な学習の時間や学校設定科目、ボランティアを重視している。	仙台白百合学園高校

H30	3	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	働き学ぶ生徒への進路指導～指導事例を通して	通信制高校で働き学ぶ者が減る中で、だからこそ生じる働き学ぶ者への進路指導の課題を検討。20代後半～30代女性の進学希望者が増加しつつも入試に伴う困難、新卒就職する場合の課題、高卒だけでは現状が変わらないことに伴う課題を事例で提示し、解決を模索。	北海道有朋高等学校
H30	4	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の進路指導の取組について	県内通信制の改編に伴い、平成24年度に開校の高校。全員に進路決定を迫る全日的対応ではなく自発性に基づいた個別の進路指導を重視しており、進路行事や進学支援、キャリア講座の実際と成果を紹介。残る課題としてアルバイト継続や進路未定への対応をあげる。	宮城県美田園高校
H30	5	東北・北海道地区 通研大会	進路指導	本校の現状と課題	進路指導上の課題として、非社会的生徒の増加や生徒の希薄な進路実現意識、保護者の経済環境・職業意識に関わる課題、教員の通信制課程への理解不足などを提示。教員の地方労働市場環境への認識不足や、職業類型・学問類型への認識不足なども指摘している。	福島県立郡山萌世高校
H30	6	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	本校の生徒指導について	中学入学後すぐと全日制からの転編入生が中心での高校で、不登校経験者も多い。生徒は素直で落ち着いているが、基礎学力や社会性、コミュニケーションでの課題も持つ。生徒指導では生徒の動向把握と服装等の指導を中心に、安心できる学習環境の提供を重視する。	青森県立北斗高等学校
H30	7	東北・北海道地区 通研大会	生徒指導	スクールソーシャルワーカーの有効的な活用	8割の生徒が中学校・前籍高校で不登校経験があり、学習評価の上位者と下位者の差も大きいことを踏まえ、生徒指導の面では問題行動の懲戒処分ではなく、未然防止や注意喚起と支援を重視する。体制面ではスクールカウンセラーとSSWを配置し、事例も紹介。	秋田県立秋田明德館高等学校
H30	8	東北・北海道地区 通研大会	放送教育	(各校からの持ち回り議論による協議)		